

1 単元名 わたしたちのまち ～私たちの住む安房地域の秘密を探り、守ろう～

2 単元の目標

○ 校区「安房」の秘密（初めて知ったこと）と、安房地域の課題と課題解決方法を友達に伝えることができるようにまとめることができる。

(知識及び技能)

○ 校区「安房」について、「安房里めぐり」チームの方にサポートをもらいながら、調べ、課題を探し、解決方法を見出すことができる。

(思考力・判断力・表現力等)

○ 安房小学校校区で暮らす人と共に安心して暮らせるようにするにはどのようにすれば良いかという意識を持って地域の方と関わり、「安房」地域についてまとめることができる。

(主体的に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元「わたしたちのまち」では、まず、地域の方とたくさん出会い、その出会った方達から、地域の秘密を教えてもらい、友達へ分かりやすく伝えるためにまとめることを目標とした。

「安房小学校校歌」の歌詞の中に出てくるが、知らない言葉や場所があったので、知らなかった言葉の意味や場所を調べるために、実際にその場所へ行き、詳しく知っている方に話を聞くことから始める。教えてくださるのは、「安房里めぐり」チーム（地域の方たち）である。その方たちから地域の実態を教えていただき把握する。そして、安房地域に存在する課題を見つけていく。さらに、安房地域のことを教えていただく時に、会話をすることで地域の方と児童のコミュニケーションスキルの向上を図ることも目的とする。

その中で、鹿児島県指定無形民俗文化財である「如竹踊り」のことを知り、「如竹踊り」の後継者が少なく現状を維持していくことが大変だということを踏まえ、私たちにできることを考えていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、第2学年の時に「全国版SDGsボードゲーム」で「SDGs」という言葉や考え方について学んだことがある。なので、SDGsに関係する考えや言葉も比較的によく使うことはできている。また、2年時にそのボードゲームをする場合は、保護者に参加してもらうことで身近な大人とのコミュニケーションの仕方も学ぶことができた。今回、初めて出会う大人である「安房里めぐり」チームの方々に出会った際も、スムーズに会話を楽しむことができた。また、自分の住んでいる校区の秘密を探るといふことにとっても興味をもって、意欲的である。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、小学校の歌詞を提示する。この歌詞を通して、「先哲の教え」にある先哲とは誰なのか、「面影の水」が校区にあることを知ることから始める。自分の学校の歌詞なのに、よく理解していないままに歌っていたことに気づかせる。そして、地域の方でもある「安房里めぐり」の方に協力をいただいて、一緒に校区の里めぐりをすることで、より具体的に理解をし、「里めぐり」チームの方たちとの会話をする中でより深く安房を知り、意欲的に学ばせたい。

その中で消えていきそうな文化「如竹踊り」に着目し、安房校区の地域課題を確認したい。確認したら、自分たちにできることはないかを考え、消えてなくなりそうな文化を守りたいという思いを持たせたい。文化を守るためには、どうしてこの文化が消えていきそうなのかを確認し、どうすれば解決できるかを考えていきたい。

まず、「如竹踊り」は安房のために全力で尽くしてきた如竹先生自身や教えを忘れないために続いていることを確認する。そして、「如竹踊り」は、選ばれた男性が行ってきたが、現在は過疎化が進み、引き継ぎ手がないことが課題となってきたことを知ること、解決策として、同じ学校の友達や保護者に広めたいという考えがスムーズに出てくるように指導したい。

さらに、「里めぐり」の方を学校へ招き、疑問に思っていたことを会話しながら教えてもらうことで、解決するための行動を意欲的に進められるようにしたい。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

相互性・・・平成18年に鹿児島県指定無形民俗文化財に指定された「如竹踊り」が過疎化により引き継ぎ手が少なく途絶えそうである。私たちの先祖が大切に守ってきた伝統がなくなるという可能性があるということ。

責任性・・・高齢な方との交流がなく、高齢者の考えを聞いたり、思いを知ったりする機会がない。これからは、将来世代のことも考えて行動していくことが大切だということ。

#### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

##### 未来像を予測して計画を立てる力

学校の校歌をもとに、先哲の教えを調べる。先哲の教えを知るものが減っているのを、自分たちで広めようと計画する。

##### コミュニケーション力

地域の高齢な方から、地域の歴史などを教えていただく。自分の知りたいことをたずね、課題を見つけ、解決するにはどうしたらよいかと自分の考えをつくりあげる。

##### つながりを尊重する態度

地域の高齢者の方たちとの関わりを通し、様々な人とのつながりが豊かな学びになっていることを自覚し、高齢者に対して尊重しようとする。

・本学習で変容を促すE S Dの価値観

世代内の公正

自分たちだけでなく、高齢者や幼い子どもなど、同じ時間を過ごす皆が安心して過ごせるまちづくりが大切である。

幸福感に敏感になる 幸福感を重視する

自分たちの世代だけが幸せであることが、将来にも幸せであるとは限らない。

・達成が期待されるS D Gs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 7 パートナーシップで目標を達成しよう

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①地域のことを調べるために、話を聞き、理解しながら、メモをとることができる。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係付けながらまとめることができる。	①地域の課題を見出し、課題を解決する方法を考えることができる。 ②自分の住む地域について学んだことや考えたこと、行動目標を紙に書いたり、タブレットに打ち込んだり、表現することができる。	①これまでも守られてきた伝統を自分たちも守りたいという目的意識をもち、意欲的に調べることができる。 ②自分たちの住む地域について学んだことと、地域課題を解決する行動を発信することができる。

## 5 単元の指導計画（全20時間）

主な学習活動	学習への支援	○ 評価 ・備考
<p>1 安房小の校歌の歌詞をもとに安房地域の課題と今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先哲の教え」とは、如竹先生の教えのこと。</li> <li>・如竹先生の教えをお家の人も知らない。</li> <li>・もっと如竹先生について知ろうと興味をもつ。</li> <li>・如竹先生の教えを、周りの人が知らないことが課題であることに気づく。</li> </ul>	<p>○校歌の歌詞を提示し、如竹先生の教えの部分に着目させる。</p> <p>○如竹先生の教えが書いてある絵本を1人1冊準備し、偉大な先生であったことを確認する。</p>	イー①
<p>2 安房に詳しい「安房里めぐり」の方たちに、実際にその場に一緒へ行き、話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安房橋は昔、木材でできていた話。</li> <li>・「面影の水」は、昔は生活用水だった。しかし、量が少なく、如竹先生の指導のもとたくさんの水を使えるように「如竹堀」ができた話。</li> <li>・「大石亀女」という大きな石は、龍宮の入り口だと言われている話。</li> </ul> <p>☆如竹先生の教えを忘れないために「如竹踊り」ができた話。しかし、過疎化が進み、引き継ぎ手が少なく絶えてしまいそうだという話。</p>	<p>○本来は、屋久島に訪れた方へ地元の歴史、文化、自然、産業などの集落自慢を地元の語り部さんのガイドによって案内するのだが、小学生にも分かるように安房地域のことを分かりやすく説明してもらえるようお願いしておく。</p> <p>○地域について知らなかったことを知りつつ、地域の方の願いや思いを知り、今後の活動をどうするかを考えられるようにする。</p>	ア－① ウ－①
<p>3 安房地域の課題を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に行って、調べることができたのだが、新た「如竹踊り」は、引き継ぎ手が足りていないことが分かった。</li> <li>・自分たちにできることがないか。</li> <li>・友達や地域の人に人にも伝えていきたい。</li> </ul>	<p>○「祝い申そう」というハロウィンにいた行事は、続いていることを伝え「如竹踊り」を続けるための考え方に生かせられないかなど、考えるヒントを提示できるように準備しておく。</p>	ウ－①
<p>4 友達や地域の方へ伝えるために、動画を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをまとめていく。</li> <li>・どうしたら、相手に伝わりやすいか考える。</li> </ul> <p>紙芝居・ポスター・チラシ・コマーシャル</p>	<p>○これまでの国語の学習したことを関連させ、構成を考えさせる。アンケートをとって、結果をまとめるところでは、算数の学習とも関連させる。</p>	ア－② イー②
<p>5 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・如竹先生のように安房地域の課題を解決するために、行動を起こせるようになりたい。</li> </ul>	<p>○これからの個人での活動へと発展できるように、できそうなことを例に出せるように準備しておく。</p>	ウ－②